

小型井戸候補地プロテアット村ロンさん宅

住所：カンボジア国コンポンチャム州スレイ ソントゥ郡プテアコンダル区プロテアット村

<https://www.google.com.kh/maps/@11.849049,105.1367499,244m/data=!3m1!1e3?hl=ja>

グーグルマップリンク、概ねの位置になります。

候補地はプロテアット村ロンさん宅で首都プノンペンから約 60Km 車で 90 分、有名なメコン川（チベットからベトナムに流れる）沿いの村の外れになります。井戸の使用はロンさん一家ともう 1 家族の予定です。

ロンさんの家族について（4 人家族）

ルム ロン 56 歳 夫 ヤシの木に登り、ヤシジュースを取る仕事

チア コン 51 歳 妻 ヤシの砂糖を作る仕事

ライ チャムラン 8 歳 孫 小 3 年生

ライ ラックサー 5 歳 孫

2 人の子供の親は父が失踪し、母が縫製工場に出稼ぎしていますので、孫はおじいさんとおばあさんと一緒に住んでいます。母から月 40 ドルの仕送りがありますが、最近はコロナで工場が閉まったりしているようで仕事を変えたりで 10～20 ドルぐらいだそうです。

水の使用については、雨水を使うものの足りないので水タンク車から水瓶 1 杯 \$0.75 で水を買っています。ロンさんらの収入はハッキリとわかりませんでしたが、生活では月 50 ドルぐらいを消費しているそうです。田舎の方々は読み書き計算が苦手ですのであまり正確な情報はわかりませんでした。



砂糖づくりの仕事について

1日3回ヤシの砂糖を作って、一回5〜6kg砂糖ができます。ヤシの木の多くは借りています、木の持ち主に1年間3kgの砂糖を支払います。



👉 ロンさんが朝ヤシの木に容器を設置し、夕方に回収に行きます。

この黄色、黒、緑の容器は使った洗剤のものです、きれいに洗ってヤシのジュースを入れることができます。昔は竹で使っていましたが、最近は竹が少なくなり値段も高いですし、洗ったとき乾くまで結構時間がかかります。ペットボトルだと近所の人が洗剤を使ってからペットボトルをもらったらお金がかかりませんし、軽いし、洗いやすく便利だということです。



👉 これはヤシの実を切るのナイフです。このナイフがよく切れるのでケースの中に入れないと危ないそうです。10m近いヤシの木にも登りますので、両手が自由でないと危ないそうです。

ロンさんの足が少し変に見えますが、ヤシの木から落ちてしまった時の障害が残っています。歩くときはゆっくりです。3〜4回は落ちたことがあると言っていました。

カンボジアでヤシの木から落ちて障害者になっている人は他にも多いです。危険な仕事なので辞めれば良いと思いますが、生き方を変えるのは難しいのだと思います。



ヤシの砂糖を作るかまどの様子です。最初に強火で1つの大きな鍋で30ℓのヤシジュースを煮て、沸騰したら中火にし、灰汁を取りながら混ぜて1時間半くらいで完成です。



ヤシの砂糖が出来たものです。料理やカンボジアの伝統的なお菓子などを使われます。これは液状ですが、固形にするものもあります。



かまどはコンさんが主に担当しています。



家の外の様子です。木とトタン屋根と葉っぱになっています。

この木は薪です。



水瓶です。雨を入れる為に軒先に置いてあります。水を買うお金がない時は、砂糖で支払う時もあるそうです。大人はこちらの水を飲んでいます。



孫の飲料水は青い 20ℓ のボトル水を飲んでます。母親からの指示で 0.75 ドルで買っていますが、買えたり買えなかったりだそうです。夜はこの台の上で寝ています。



鶏小屋の様子です。鶏肉を食べたり売ったりします。市場に持って行くと 1羽 3ドルぐらいのお金になります。



貧しい家庭ですので、井戸を寄贈して頂けると衛生的にも経済的にも助かります。

何卒よろしくご支援いただきますようお願いいたします。